

業務委託特記仕様書

業務委託名 : 普天間飛行場跡地利用水循環機構調査検討業務委託

業務委託場所 : 宜野湾市内

履行期間 : 契約締結の翌日から令和9年3月19日まで

1. 共通仕様書の適用

本業務にあたっては、本仕様書及び土木設計業務等共通仕様書（沖縄県土木建築部 R7.7月版）に基づき実施しなければならない。なお、共通仕様書改訂の際は最新版を使用すること。

2. 本仕様書の適用

- (1) 本仕様書は、沖縄県（以下「発注者」という。）の発注する普天間飛行場跡地利用水循環機構調査検討業務委託に適用する。
- (2) 成果品はすべて発注者の所有とし、発注者の許可を受けずに他に公表、貸与、使用してはならない。
- (3) 本仕様書に明記されていない事項又は疑義が生じた場合は、発注者と協議の上、決定しなければならない。

3. 関係法令等の遵守

本業務を実施するにあたっては、本特記仕様書のほか、関係法令、規則、通達等を遵守しなければならない。

4. 業務目的及び内容

沖縄県では、返還が予定されている普天間飛行場の跡地利用に向けて各種取組みを進めているものの、返還後の開発に伴い周辺地域の水利用への影響が懸念されている。

また、同飛行場の地下水は流れが不明確であることから、跡地利用計画の熟度を高めるため、流れを把握する必要がある。

周辺地域を含む水環境を把握することで、跡地一連の土地利用と水施策の検討資料とするための調査を行うものである。

(1) 計画準備

検討の実施にあたり、検討の目的、内容を十分把握し、検討計画の立案、準備を行う。

(2) 資料収集

普天間飛行場の水循環及び地下水の流れを可視化するための検討に際して、必要となる資料や水文観測データ等の収集及び整理とりまとめを行う。

(3) 現地観測

宜野湾市内にあり、同飛行場内から市公共下水道に流下する水位を観測し、流量及び流速を求める。

必要となる計測機器費用、設置費用、材料費及びデータ回収費用等の諸経費は直接経費等として計上する。

積算上の条件は以下とする。観測の着手時期、期間、観測地点等については、契約後に受発注者間で調整のうえ決定する。

調査箇所 宜野湾市伊佐地内
観測対象 水位
観測期間 令和8年8月～令和9年2月
観測地点 2地点

(4) 水理地質構造の把握

普天間飛行場一帯において机上調査及び現地調査を行うとともに、既存の地質調査や湧水を踏まえて対象領域を設定する。また、三次元的な地質構造を整理する。

なお、調査範囲は22km²を想定する。

(5) 水循環機構の把握

設定した領域を対象として、地表水と地下水を一体に解析できる水循環モデルを構築する。モデル構築に際しては、河川流量、地下水位及び湧水量を検証材料とし、観測値が得られている1年間程度を対象とし、(3)及び(9)の観測記録を用いて解析をすることで現況の水循環機構を再現する。

なお使用する解析ソフトは特殊仕様とせず、一般的に広く普及しているものを採用する。

(6) 学識経験者への意見聴取

技術的な助言を得ることを目的として、水文（1名）、地質（1名）に精通している外部の学識経験者へ各々2回のヒアリングを行う。

受注者は事前に学識経験者とのヒアリング資料を作成する。

なお、ヒアリングは可能な限り受注者も同席する。

(7) 打合せ協議

業務の進捗状況及び業務内容の打合せについては、原則、初回時、中間（5回）、完了時に行う。

(8) 報告書の作成

(1)から(7)の検討内容全体をわかりやすくまとめた報告書を作成する。

(9) 関連業務

- ・ 普天間飛行場地下を流れる地下水については、沖縄県が関連業務として同飛行場周辺の地下水が湧き出る地点で令和8年9月までの予定で流量観測を別途、委託している。
- ・ 解析結果は別途発注する普天間飛行場跡地利用に係る土地利用検討の業務と連携を図ること。

5. 積算について

(1) 積算基準

本業務に係る積算について、仕様書に記載のない限り国土交通省大臣官房技術調査課監修、一般財団法人経済調査会発行の設計業務等標準積算基準書（令和7年度版）を採用する。

なお、技術者単価は令和8年3月から適用する設計業務委託等技術者単価とする。

(2) 旅費交通費について

学識経験者ヒアリングのための旅費・交通費は以下とする。

東京～那覇	: 106,364円（税抜）	対象経費	航空賃、車賃、雑費
沖縄本島中部～那覇	: 1,746円（税抜）	対象経費	車賃
宿泊料（1泊）	: 8,910円（税抜）		

なお、設計及び流量観測に要する旅費交通費は別途、(1)の積算基準に基づき計上する。

(3) 学識経験者への謝礼金について

学識経験者意見徴収のための謝礼金は以下とする。

1回あたり2時間までとし、実績に応じて精算する。1時間に満たない場合、30分以上は1時間とみなして支給する。

なお、見積における積算上の条件は教授2名に2回意見聴取を行う。

教授	5,000円／時間	（税抜）
准教授	4,546円／時間	（税抜）
その他	3,600円／時間	（税抜）

(4) 電子成果品作成費について

(1)の積算基準に基づき計上する。

6. 成果品

- ・ 業務概要版（4枚程度） 1部
- ・ 報告書（A4版くるみ製本） 6部（必要な頁についてはカラー刷りとする。）

- ・成果のデジタル版 1部（上記のデータをCD等に収めること。

7. 参考図書

本業務は以下の書籍及びホームページ等を参考とすること。

- (1) 河川・砂防技術基準（令和4年6月改定）
- (2) 地下水調査および観測指針（案）
建設省河川局監修,（財）国土開発技術研究センター編集
- (3) 国土政策総合研究所資料 水循環解析に関する技術資料
地表水と地下水の一体的な解析に向けて（平成28年3月 国総研資料第883号）
<https://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryuu/tnn/tnn0883.htm>
- (4) 沖縄県ホームページに普天間飛行場跡地利用に関する取組、過年度の普天間飛行場跡地利用計画及び同飛行場水循環機構に係る調査報告書を年度別に公開している。

- ①普天間飛行場の跡地利用計画策定に向けた「全体計画の中間取りまとめ」
（平成25年3月）

<https://www.pref.okinawa.jp/heiwakichi/atochi/1017394/1024320/1017399.html>

- ②実施調査報告書

<https://www.pref.okinawa.jp/heiwakichi/atochi/1017394/1024329/1022586/index.html>